

令和5年度シラバス

歯科衛生士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
情報統計学		講義	上田 博司	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (2 単位)		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
個人および集団の歯・口腔の健康と予防プログラムを構築するために、関連する保健情報を把握し、衛生統計の手法を習得することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 口腔内からの保健情報の収集方法を説明できる。 2. 歯科疾患の指標について説明できる。 3. 保健情報の分析について説明できる。 4. 情報の保護と倫理について理解できる。				
授業計画				
回	内容			
1	本科目の目的と概要 保健情報と保健統計 (1章-1) : 保健情報・保健統計とは、保健情報の種類			
2	保健情報と保健統計 (1章-2) : 保健情報の種類 (EBMの手順)、国家統計調査			
3	保健情報と疫学 (2章-1) : 疫学とは、健康障害の発生要因			
4	保健情報と疫学 (2章-2) : 疫学の方法論、スクリーニング (疾病と検査との関係)			
5	歯科疾患の指数 (3章-1) : 数量化と指数について、指数 (う蝕)			
6	歯科疾患の指数 (3章-2) : 指数 (歯周疾患、口腔清掃状態)			
7	歯科疾患の指数 (3章-3) : 指数 (不正咬合と歯列不正の指数、歯のフッ素症、その他の歯科保健指標)			
8	保健情報の分析手順 (4章-1) : 保健情報の収集、調査			
9	保健情報の分析手順 (4章-2) : 母集団と標本抽出			
10	保健統計の方法 (5章-1) : データの特性、記述統計 (代表値、散布度、相関)、推定と信頼区間			
11	保健統計の方法 (5章-2) : 検定、保健情報の多変量解析、その他			
12	保健情報の分析演習 (6章-1) : 解析と検定の演習			
13	保健情報の分析演習 (6章-2) : プレゼンテーション : データの表現			
14	情報の保護と倫理 (7章) : 情報社会の特性と問題点、情報の開示、個人情報の保護、インターネットと情報倫理			
15	情報統計学 (まとめ)			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	40%	保健分野における情報統計を理解し、歯科指数の取得、統計やプレゼンテーションが適切に行える。		
レポート・課題	10%	各章終了時に学習到達目標を達成しているか自己判断を行う。		
小テスト	35%	各章の終了時にその内容の理解度を確認する (全7回)。		
平常点	15%	受講態度、授業内の演習等への積極的な取り組みを評価する。		
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み3 保健情報統計学	全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版株式会社		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
なし				
自由記載				
備考				